

経営比較分析表（令和元年度決算）

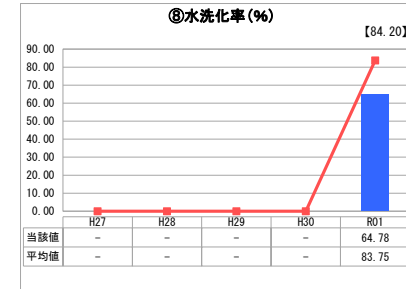
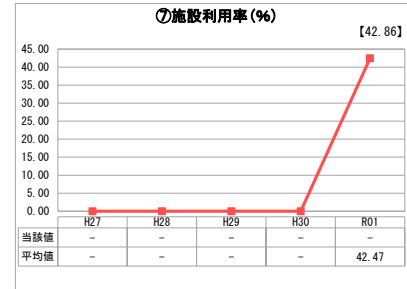
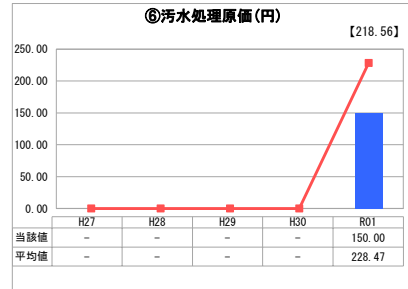
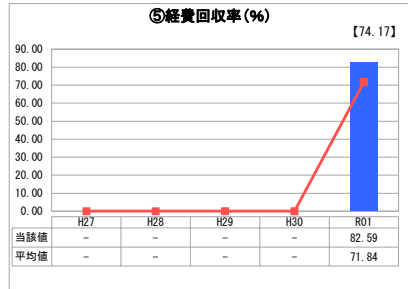
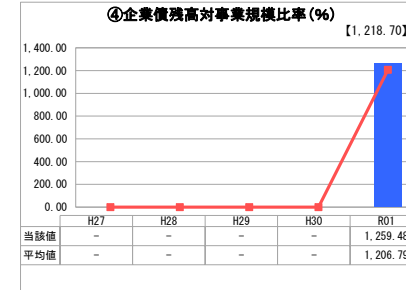
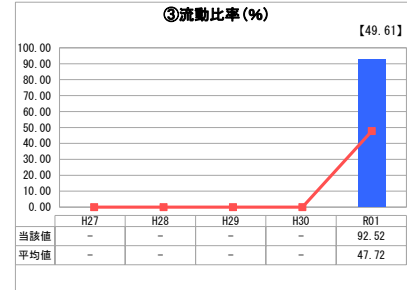
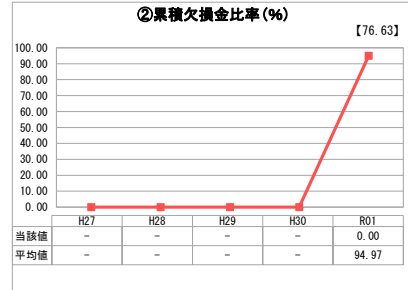
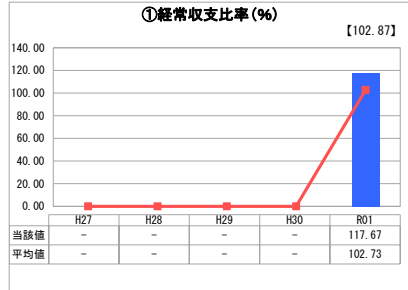
栃木県 下野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	53.86	8.31	72.63	2,530

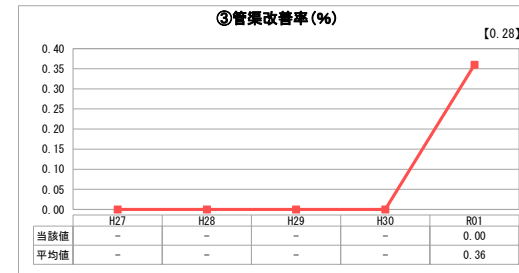
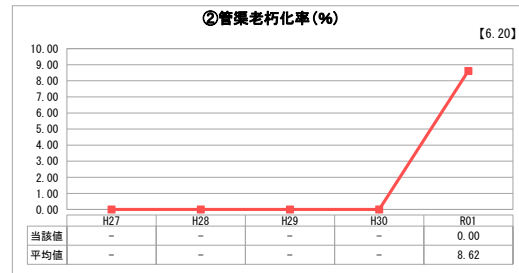
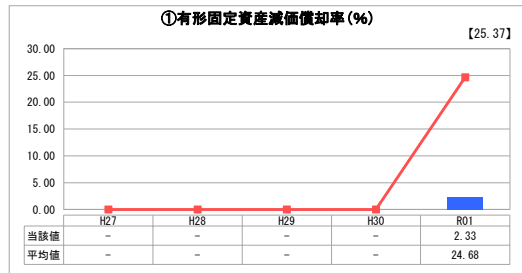
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
60,254	74.59	807.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,994	1.72	2,903.49

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
経常収支比率は117.67%となり、類似団体平均を上回り、健全な状態にある。
しかし、繰入金に依存した収入構造となっているため料金収入の確保に努める必要がある。

④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均値を若干上回り、1,259.48%となっている。

⑤経費回収率
類似団体平均値を10.75ポイント上回り、82.59%となっているが、引き続き料金収入の確保と汚水処理費の削減に努める必要がある。

⑥汚水処理原価
令和元年度の汚水処理原価は150.00円である。類似団体平均値を下回っているが、汚水処理費の削減と有収水量の増加に努める必要がある。

⑧水洗化率
水洗化率は64.78%で、類似団体平均値83.75%に比べ下回っている。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
H10年度から供用開始しており、現在までのところ更新・修繕等を要する箇所は見られない。

全体総括

類似団体に比べ、汚水処理原価が低く、料金収入による経費回収率も高い状態である。しかし、水洗化率は類似団体に比べ低い水準にあるため、新規整備にあわせ水洗化率の向上に取り組む必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。